



# 祝　辞

福岡市長  
山崎 広太郎

本日ここに、福岡北ロータリークラブが創立20周年を迎えられ、記念式典が盛大に開催されることを心からお祝い申し上げます。

貴クラブは、昭和58年の結成以来、永きにわたり、青少年育成や環境保全などの多岐に渡る奉仕活動に取り組んでおられます。

その御功績が各方面から高い評価を受けておられますことは周知の事実であり、皆様方の日頃からの弛まぬ努力と熱き想いの賜物であると衷心より敬意を表する次第であります。

さて、これからは、九州・アジアという広域的な視点に立って、この福岡市の力を伸ばしていくことが大切だと考えており、そのためには市民が生き生きと活躍し、その多種多様なネットワークによって、さらなる活力を生み出させていけるかどうかが益々重要になると考えております。生活を取り巻く福祉、環境、教育、防災などの地域における課題に対して、市民の皆さんと行政が手を携えて取り組み、地域の問題は地域で解決するという地域経営の基本原則を確立していくたいと考えております。

そのためには皆様に象徴される市民や各種団体の役割がますます大きくなっています、これから社会に元気を与える源になると確信しております。本市におきましても、N P O・ボランティア交流センターや地域コミュニィの核となる公民館の充実を図っており、これらの施設を活用され、ますます皆様方の多様な活動を進めていただくよう期待しております。

今後とも、市民一人ひとりに力を発揮してもらえる舞台を作り、自由闊達で人が輝くまち、福岡に住むことの誇りと幸せを実感できるまちを、市民の皆さんと手を携えて形づくってまいりますので、会員の皆様方にはさらなる御支援、御協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、福岡北ロータリークラブ20周年記念式典のご盛会と皆様方の今後益々の御活躍、御発展を心より祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

# 祝　辞

ガバナー  
高本 精之



福岡北ロータリークラブが設立されて20年を迎えた事、心よりお喜び申し上げます。

日本では生まれて20年で成人式を行う様になっています。貴クラブは正に成人です。貴クラブは創立後幾多の苦難を経て今や福岡に於ける立派な中堅クラブと成長された事、誠に慶賀の至りです。おめでとうございます。

貴クラブ10周年誌を拝読し貴クラブの発展の経過を伺い知りました。貴クラブはR.I.創立100周年を迎える2005年までの間の100人のR.I.会長の中でたった二人しか出ていない日本人のR.I.会長の一人である向笠さんの時に創立されました。全くラッキーです。おめでとうございます。そして10周年を機に当時の平野桂樹特別代表が「木を育てるより、人を育てよう」という合言葉のもとに日本ボーイスカウト福岡第14団を発足され、現在も継続されていると云う立派な事業をされている、奉仕は実行です。そして今日最も必要な青少年の育成に着目された貴クラブは正に世界最大のNPOの一つであるロータリーの中にあって、なくてはならないクラブです。

本年は亦、私がガバナーになって始めてD.L.P.を実行しました。皆様も全く理解出来なくて大変悩まされたと思いますが、それ程ロータリーが今、大きく動き大きな曲がり角に来ている様に思われます。“Something Great” 「サムシング・グレイト」ある偉大な力によって物事が動かされていると思います。自分の力ではどうにもならないある大きな力が世の中には働いていると思われます。だがしかし現在ではこのD.L.P.もお陰様でよく理解され、協力戴いていると思いますが、この変化にもよく順応され、次の時代に大きく飛躍されようとしていると私は思います。

創立10周年より20周年を大きく躍進されてこられました。更に次なる30周年に向かって大きく発展され、又、会員各位もご健勝でご活躍あらん事を心よりお祈り申し上げます。

# 祝　辞

福岡城西ロータリークラブ  
会長 中西 勇



福岡北ロータリークラブの皆様、創立 20 周年を迎えるにあたり、心よりお慶びとお祝いを申しあげます。

さて、貴クラブは 1983 年に、当時の中牟田喜一郎ガバナーの下、福岡城西ロータリークラブをスポンサークラブとして、平野桂樹特別代表以下 50 名のチャーターメンバーで創立されました。福岡城西ロータリークラブから転籍された、故平野特別代表、故新家忠男パストガバナーのご指導のもと「木を育てるより、人を育てよう」という基本理念で、クラブの簡素化、合理化、冗費節約型運営の「手作りクラブ」として発足されました。

お二人のロータリアンとしての熱い思いは、現在でも当クラブにおいて語り伝えられております。奉仕の実践を第一とするロータリアン精神に改めて感動いたしております。

貴クラブの創立以来 20 年の星霜は決して平坦な道ばかりではなかったと想像致しますが、50 余名のメンバーの結束は固く、地区大会のホストクラブを始め、その他輝かしい業績を重ねられ今日を迎えられましたことは、大変素晴らしいことです。

今、RI は 2005 年に創立 100 周年を迎えるとしております。「未来を築く」ために「ロータリーは如何にあるべきか」を真剣に模索する、まさにその時期を迎えていると存じます。

ポールハリスの「夢がなければものは始まらない。決心がなければものは完結しない。我々の活動する時代はもう終わりつつあるのだろうか? いや、有難いことにそうではないのだ。何かも悪いくらいだらけなのだ。ロータリーのどこをとっても改善の考えられないようなものはおそらく一つもないのではないかと思う。ロータリーが開拓者となる時代は今始まったばかりだと私は考えたい。」という言葉を改めて想起しながら、あいともに「奉仕の理想」に励みたいと存じます。

貴クラブの今後ますますのご発展と、会員の皆様のご活躍を祈念いたしまして祝辞といたします。

# 祝　辭

高雄中興扶輪社  
社長　莊　金龍

## 祝賀詞

敬愛的日本福岡北扶輪社　村上泰之　社長，各位社友先進們，衷心祝賀貴社授證二十週年慶典，今天本人代表高雄中興扶輪社社長的名義向各位祝福，對本人來說實在是一件非常光榮的事。

福岡北社是一個擁有數不清耀眼社績，受社會人士所肯定、同輩所推崇的社團，這是值得你們喜悅與驕傲的，同時讓我們也有同樣的感受。扶輪的最終目的是在改善人與人之間的關係，創造更美好祥和的社會。今日貴社成立二十週年慶典，以「青少年培養培育愛心」為主題所舉辦的各種紀念活動，就如 RI 今年的宗旨「播撒愛心的種子」，就是要喚起每一個人內心深處的善意，由下而上，發揚其服務的理念，而這些都必須基於人與人之間的互相信任與友情才能得以發揚。集合眾人的棉薄之力後，任何艱困皆不足為懼，這就是我們的目標，一個眾志成城、以增進世界人類之生活的大同世界。

我中興社與貴社締結姐妹社 7 年來，由於你我雙方前輩們培養出來的心與心的結合，以及透過文化藝術的交流等等，已留下非常有意義且關係非凡無法磨滅的足跡。

祝福貴社社運昌隆，社友健康幸福，授證二十週年慶典圓滿成功。

國際扶輪社 3510 地區  
高雄中興扶輪社  
社長　莊金龍 CARTON 敬賀  
2003、6、7

敬愛する日本福岡北ロータリークラブの村上泰之会長並びに、会員の皆様へ貴クラブの創立二十周年記念「成人式」、おめでとうございます。  
今日、私がここで台湾高雄中興扶輪社社長として皆様に心からご祝福できることは私にとってとても光榮なことでございます。  
福岡北ロータリークラブは数え切れないほどのまばゆく輝く、多くの功績を積まれ、社会各階層に認められ、また、同じく他のロータリークラブからも尊敬されているクラブです。これは貴クラブ各位の誇りであると同時に私達にも同じように名誉な事です。  
ロータリー最終の目的である、人と人の関係を改善し、さらに美しく平和な社会を創造することは、まさに今日、貴社の創立二十周年「成人式」で「青少年育成　育てよう思いやりの心」をテーマとして行なわれた各種の記念活動と一致します。  
この事は、今年のロータリーターゲット「慈愛の種を播きましょう」と同じように、人々の心根の深い善意を喚起し、形而上から形而下へ、その奉仕の理想を発揚します。しかし、人間の相互信頼と友情に基づかなければ、発揚することができないと思います。人々の力を集めてこそ、いかなる困難も怖くありません。これは、我々の目標です。即ち、皆の意志と知恵と力で、世界人類の生活の質を増進していく大同世界をつくることです。

高雄中興扶輪社と貴クラブは姉妹クラブを締結してから既に7年になっています。この間、双方両クラブの先輩達が育成した心と心の結合や文化芸術の交流などを通して、とても有意義でかつ親密で磨滅することができない足跡を残しています。

皆様のご健康とご多幸を祝福します。また、創立二十周年記念「成人式」が円満に成功するように祝福しております。

國際ロータリークラブ 3510 地區  
高雄中興扶輪社  
社長　莊　金龍 CARTON 敬賀  
2003年6月7日

